

# 令和3年度池・水路自然環境調査

## 1 調査場所の概要

### ① 古隅田川

(小菅4丁目)

流れの景観保存、自然の再生を目指して整備した。豊かな自然の姿が見られる。自然再生区域の1つ。



### ② 西水元水辺の公園

(西水元1~3丁目)

中川の河川空間を活用し、湿地、広場、ワンド、多目的運動場などをつくり「水辺に親しめる公園」として整備された。



### ③ 怪無池

(高砂6丁目)

中川左岸に隣接する閉鎖性水域。水草が茂り、水鳥が訪れる小さな池。



### ④ 江戸川・新八水路

(柴又6丁目)

江戸川本流から入り組むようにワンドと水路が整備され、生きもの達のオアシスになっている。



## 2 水質調査結果

### ①古隅田川（小菅4丁目）

区分		調査地点	古隅田川				平均
		調査月日	5/18	8/11	11/4	2/2	
		採水時刻(時:分)	10:15	10:50	13:07	13:40	
一般項目	現場測定項目	天候	曇り	晴	晴	晴	-
		気温(°C)	22.5	32.1	19.2	12.2	21.5
		流向	西(順流)	西(順流)	西(順流)	西(順流)	-
		水温(°C)	21.4	30.5	18.1	8.5	19.6
		色相	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄色	-
		臭気	無臭	微川藻臭	微土臭	微土臭	-
		透視度(cm)	35	35	49	12	33
	生活環境項目	pH	7.7	7.7	7.7	8.2	7.8
		DO(mg/l)	6.8	6.3	7.3	11.8	8.1
		BOD(mg/l)	2.9	1.5	1.2	7.7	3.3
		COD(mg/l)	5.1	4.1	4.7	12	6.5
		SS(mg/l)	16	12	9	24	15
		全窒素T-N(mg/l)	1.99	1.70	4.21	7.28	3.80
		全りんT-P(mg/l)	0.172	0.196	0.179	0.332	0.220
その他	アンモニア性窒素NH4-N(mg/l)	0.01	<0.01	0.20	0.42	0.16	
	亜硝酸性窒素NO2-N(mg/l)	0.018	0.010	0.099	0.124	0.063	
	硝酸性窒素NO3-N(mg/l)	1.71	1.27	3.57	4.83	2.85	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/l)	1.72	1.28	3.66	4.95	2.903	
	クロロフィルa(mg/m <sup>3</sup> )	-	3.3	-	196	99.7	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

### ②西水元水辺の公園（西水元1～3丁目）

区分		調査地点	西水元水辺の公園				平均
		調査月日	5/18	8/11	11/4	2/2	
		採水時刻(時:分)	13:00	9:55	9:10	11:20	
一般項目	現場測定項目	天候	曇	晴時々曇	晴	晴	-
		気温(°C)	21.8	31.1	16.1	8.8	19.5
		流向	停止	※1 特記事 項参照	※2 特記事 項参照	※3 特記事 項参照	-
		水温(°C)	21.4	28.3	17.5	8.7	19.0
		色相	淡黄色	淡黄緑色	淡灰黄緑色	中灰黄緑色	-
		臭気	微土臭	微土臭	微土臭	微土臭	-
		透視度(cm)	42	31	18	15	27
	生活環境項目	pH	7.3	7.3	7.3	7.8	7.4
		DO(mg/l)	6.4	5.9	5.2	14.1	7.9
		BOD(mg/l)	3.6	1.3	1.2	8.4	3.6
		COD(mg/l)	5.3	5.2	8.4	14	8.2
		SS(mg/l)	13	25	91	33	41
		全窒素 T-N(mg/l)	2.17	2.16	5.84	9.09	4.82
		全りん T-P(mg/l)	0.148	0.194	0.295	0.397	0.259
その他	アンモニア性窒素 NH4-N(mg/l)	0.03	0.01	0.95	1.66	0.66	
	亜硝酸性窒素 NO2-N(mg/l)	0.052	0.028	0.138	0.213	0.108	
	硝酸性窒素 NO3-N(mg/l)	1.57	1.80	3.54	5.12	3.01	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/l)	1.62	1.82	3.67	5.33	3.110	
	クロロフィルa(mg/m <sup>3</sup> )	-	11.3	-	135	73.2	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

※1 中川本流に水上バイクが走っていたため、波がワンド内に流入していた。

※2 引き潮の影響で川面の高さが低くなっていたため、採取位置から本流に向けて水の流れがあった。

※3 また、大型船が複数回通過したため、底泥が巻き上がり、濁りが発生した。ワンドと接する中川から河川水が流入していた。採水位置周辺を除き、ワンド内は水が引いて干潟状だった。

### ③怪無池（高砂6丁目）

区分		調査地点	怪無池				平均
		調査月日	5/19	8/19	11/5	2/2	
		採水時刻(時:分)	9:00	12:10	9:45	8:00	
一般項目	現場測定項目	天候	小雨	晴	快晴	晴	-
		気温(°C)	17.7	33.4	16.2	6.2	18.4
		流向	停止	停止	停止	停止	-
		水温(°C)	19.5	28.8	15.5	5.5	17.3
		色相	淡黄緑色	中灰黄緑色	淡灰黄緑色	淡黄緑色	-
		臭気	微下水臭	中下水臭	中川藻臭	微下水臭	-
		透視度(cm)	29	26	50	55	40.0
	生活環境項目	pH	7.6	7.0	7.2	7.2	7.3
		DO(mg/ℓ)	2.0	0.4	1.1	0.4	1.0
		BOD(mg/ℓ)	13	7.3	2.7	8.2	7.8
		COD(mg/ℓ)	22	13	8.6	10	13.4
		SS(mg/ℓ)	33	16	12	10	18
		全窒素 T-N(mg/ℓ)	3.03	1.73	0.83	0.74	1.58
		全りん T-P(mg/ℓ)	1.33	1.32	0.751	0.717	1.030
その他	アンモニウム性窒素 NH <sub>4</sub> -N(mg/ℓ)	<0.01	0.04	0.02	0.01	0.02	
	亜硝酸性窒素 NO <sub>2</sub> -N(mg/ℓ)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
	硝酸性窒素 NO <sub>3</sub> -N(mg/ℓ)	0.04	<0.01	0.01	<0.01	0.02	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/ℓ)	0.042	<0.012	0.012	<0.012	0.020	
	クロロフィルa(mg/m <sup>3</sup> )	-	72.6	-	6.5	39.6	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

### ④江戸川・新八水路（柴又6丁目）

区分		調査地点	江戸川・新八水路				平均
		調査月日	5/19	8/11	11/5	2/2	
		採水時刻(時:分)	12:40	8:20	12:40	9:30	
一般項目	現場測定項目	天候	雨	晴	快晴	晴	-
		気温(°C)	18.4	29.8	19.1	7.8	18.8
		流向	停止	停止	停止	停止	-
		水温(°C)	18.5	25.6	15.2	4.0	15.8
		色相	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	淡黄緑色	-
		臭気	無臭	微川藻臭	中川藻臭	微土臭	-
		透視度(cm)	29	26	31	>100	47
	生活環境項目	pH	7.7	7.2	7.2	7.8	7.5
		DO(mg/ℓ)	2.1	2.6	3.3	10.9	4.7
		BOD(mg/ℓ)	3.1	2.0	1.3	2.5	2.2
		COD(mg/ℓ)	6.6	4.7	4.8	9.1	6.3
		SS(mg/ℓ)	9	19	8	33	17
		全窒素 T-N(mg/ℓ)	1.37	1.28	0.39	0.44	0.87
		全りん T-P(mg/ℓ)	0.127	0.102	0.026	0.038	0.073
その他	アンモニウム性窒素 NH <sub>4</sub> -N(mg/ℓ)	0.15	0.02	0.10	0.01	0.07	
	亜硝酸性窒素 NO <sub>2</sub> -N(mg/ℓ)	0.012	0.037	0.007	<0.002	0.015	
	硝酸性窒素 NO <sub>3</sub> -N(mg/ℓ)	0.07	0.54	0.05	<0.01	0.17	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素(mg/ℓ)	0.082	0.577	0.057	<0.012	0.182	
	クロロフィルa(mg/m <sup>3</sup> )	-	6.7	-	7.2	7.0	

※クロロフィルaは8月、2月の年2回実施する。

※水質分析項目の<表示の値は報告下限値より低いことを示す。

### 3 魚類調査結果

十は、おおむね11～99個体 十十は、おおむね100個体以上

NO	目名	科名	種名	調査地点										希少種		かつしからしさ	注意が必要な種	生態系被害防止外来種リスト	備考	
				①古隅田川		②西水元水辺の公園		③怪無池		④-1江戸川・新八水路		④-2江戸川本流		環境省RL	東京都RL(区部)					
				5/18	11/4	5/18	11/4	5/19	11/5	5/19	11/5	5/19	11/5							
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ			1								EN	EN					
2	ニシン目	ニシン科	サツバ																	
3			コノシロ																	
4	コイ目	コイ科	コイ科				1													
5			コイ(型不明)	+	9															
6			フナ属					4		1										
7			タイリクバラタナゴ								1									重点
8			ハクレン									5								総合
9			ウグイ属																	
10			マルタ								1						NT			
11			ニゴイ														NT			
12			スゴモロコ			2														
13			ボラ目	ボラ科	ボラ			1						2						
14			カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	+		3	3	++	1	9							●	重点
15			ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ							+				VU	CR	○		
16			ヒメダカ			1														
17	スズキ目	スズキ科	スズキ																	
18		サンフィッシュ科	サンフィッシュ科	1																
19			ブルーギル	1	1													●	緊急	
20			オオクチバス	2	1													●	緊急	
21		ハゼ科	マハゼ			+				2		1					○			
22			アシシロハゼ			+	5				5					NT				
23			シモフリシマハゼ																	
24			ヌマチチブ			2	1					4				NT				
25			ウロハゼ																	
26			スミウキゴリ										2							
27			ビリンゴ										1			NT				
合計 7目 9科 20種				4種	5種	4種	5種	3種	1種	2種	5種	6種	1種	2種	7種	2種	3種	5種		
				6種		7種		3種		6種		7種								

※ 表中の数字は確認個体数を表す。 +:おおむね11～99個体 ++:おおむね100個体以上  
 ※ 目、科、種名及び配列は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト (R02年度版)」  
 (<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/mizukokuweb/system/seibutsuListfile.htm>) に従った。  
 ※ 環境省RL:「環境省レッドリスト2020 汽水・淡水魚類」(環境省)の掲載種。  
 ※ 東京都RL:「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)2020版」(東京都)の掲載種。  
 ※ かつしからしさ:「生物多様性かつしか戦略～全ての“生きもの”の命のつながりのために～」(葛飾区、2012)で選定された「かつしからしさを指標する種」に該当する種。(○:該当種)  
 ※ 注意が必要な種:「生物多様性かつしか戦略～全ての“生きもの”の命のつながりのために～」(葛飾区、2012)で選定された「注意が必要な種」に該当する種。(●:特定外来生物)  
 ※ 生態系被害防止外来種:生態系被害防止外来種リスト(環境省、2015)に掲載されている種。  
 (緊急:緊急対策外来種、重点:重点対策外来種、総合:その他の総合対策外来種、産業:産業管理外来種)



メダカ  
(絶滅危惧Ⅱ類)



ブルーギル  
(特定外来生物)

#### 4 水生昆虫・底生動物、野鳥等

調査地点	水生昆虫・底生生物等	野鳥
古隅田川	(水生昆虫)アオモンイトトンボ属、アメンボ、ギンヤンマ、オオヤマトンボ、ヒメアメンボ、シマトビケラ科、チビミズムシ属、ヒメトビケラ属、ガガンボ属 (底生動物)カワリヌマエビ属、 <b>アメリカザリガニ</b> 、サンカクアタマウズムシ科、アメリカツノウズムシ、サカマキガイ、ヒラマキガイ科、カワコザラガイ、タイワンシジミ、ハバヒロビル、ヒラタビル科、フロリダマミズヨコエビ	カルガモ、キジバト、オナガ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、スズメ、ドバト、ムクドリ、ハクセキレイ
西水元水辺の公園	(水生昆虫)コミズムシ属、カ科、ナゴヤサナエ、アメンボ、カタビロアメンボ科 (底生動物)ヒメタニシ、 <b>カワヒバリガイ</b> 、カワゴカイ属、テナガエビ、スジエビ、 <b>アメリカザリガニ</b> 、クロベンケイガニ、ヌマガイ、ヤマトシジミ、イトミミズ目、コツブムシ、モクズガニ	キジバト、アオサギ、ツバメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、カルガモ、ドバト、ダイサギ、コサギ、オオバン、コアジサシ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、メジロ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ
怪無池	(水生昆虫)アオモンイトトンボ属、コシアキトンボ、コツブゲンゴロウ、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、シオカラトンボ属、チョウトンボ、ヒメイトアメンボ、ミズギワカメムシ科、ミズムシ(昆)、ユスリカ科、ガムシ科、キベリヒラタガムシ、マルハナミ科 (底生動物)カワコザラガイ科、 <b>アメリカザリガニ</b> 、ベンケイガニ、モノアラガイ科、サカマキガイ、カワコザラガイ、ミミズ綱、ヒル綱、ハマトビムシ科、フロリダマミズヨコエビ、カワリヌマエビ属、クロベンケイガニ	バン、オオバン、ツバメ、ムクドリ、ハクセキレイ、カワラヒワ、カルガモ、キジバト、ドバト、カワウ、アオサギ、モズ、オナガ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、スズメ
江戸川・新八水路	(水生昆虫)オオシオカラトンボ、アメンボ、コカゲロウ科、アオモンイトトンボ属、シオカラトンボ、ヒメアメンボ、カタビロアメンボ科、ケシカタビロアメンボ、チビミズムシ属、ユスリカ科 (底生動物)チリメンカワニナ、ミズゴマツボ科、 <b>タイワンシジミ</b> 、ミズムシ、イソコツブムシ、カワリヌマエビ属、テナガエビ、 <b>アメリカザリガニ</b> 、ヒメタニシ、ヒメモノアラガイ、サカマキガイ、カワコザラガイ、シジミ科、ヤマトシジミ、イトミミズ目、エラミミズ属、ヒル綱、ヒラタビル科、ヨコエビ目、フロリダマミズヨコエビ、コツブムシ科、スジエビ、モクズガニ	カルガモ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ヒヨドリ、スズメ、カワラヒワ、キジ、ドバト、カワウ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ツバメ、メジロ、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、ハクセキレイ、シメ



ヒバリ  
(絶滅危惧Ⅱ類)



ベンケイガニ  
(留意種)